

本照寺だより

日蓮宗 常栄山

お会式で3年ぶりの稚児行列

■10月15日の土曜日、数年前の晴天に恵まれ、秋晴れの中、気持ちよく秋祭り「お会式」を開くことができました。コロナ禍で見送っていた稚児行列も3年ぶりに復活でき、喜びもひとしおです。

全体の所感



◆屋台や夜の万灯行列がない中でしたが、100名以上の方がお参りしてくださいました。
◆地元の子どもたちや、遠方からお山しゆぎようの参加者も来てくれ、嬉しい限りです。
◆数年続いている各種催しは、朝から夕方までパラパラと参加者があり、ようやく知名度が上がってきたのかなあと感じました。

坊さんのつぶやき

■私個人としては、稚児行列や法要にのぞむ心構えの説明をかなり工夫したつもりなのですが、どこまで伝わっているのか。

延山周辺の観光を楽しんだ。

山と日本人

古来より日本人は山に聖なるものを感じ、こもって修行をすることで不思議な力が授かることを信じてきました。

私もそんな感性を受け継いでおり、山に登り長時間滞在することで「清められる」感覚は深く共感するところです。

何が良かったか

仏道修行の視点から言えば、山登り中の足運びや断続的に生じる筋肉の痛み・疲労感などを淡々と捉え続けることで心が静まっています。

身延山のお隣、七面山へ登ってきました

【2日目】

5時起床
6時頃ご来光、朝食。
4時間半で下山。
下山後、入浴、昼食で一休みし、身

副住職のコーナー

山です。七面山は3回目の登山ですが、今まで一番精神的に楽でした。登山中に残りの距離を

第96号

厚木市下古沢133
TEL・046-247-1156
FAX・046-247-1156
振替・0230-7-35749
(加入者名・本照寺)
発行所
本照寺・須藤教裕
携帯090-9151-6438
honshou49@i.softbank.jp

いたでしようか。

■日本仏教の実践や教理は、元々の仏教が中国で再解釈され、日本の習俗が複雑に絡み



稚児行列2枚。天気に恵まれて、本当にいい絵になっていました。



登り口での滝行

離を気にして心が惑うこともなく、目的のお寺へ着いたときには、ただ清涼感だけがありました。た

【おすめの方】

登山・滝行・頂上付近のお寺への宿泊・周辺の観光に興味のある方には強くおすすしめします。

仏道修行が日本の山岳信仰の中でのように消化されていったのか、その一端を自分の体験を通して推し量れるかもしれません。

多くの方と来年少一に一緒に登れることを願っています。

朝の詩

ひとり

大阪府寝屋川市
三谷隆英 82

雨が降った
雨だれの
音を聞きながら
ひとり居る
風が吹いたら
にし、ひがし
吹かれるままに
歩いてる
妻を亡くして15年
わたしはこし
82歳

雨

愛媛県大洲市
土居義彦 74

雨が降り続いた
子供時分の雨漏りを
思い出す
カーテン
たたき
ボタリン ボチボチ
桶(おけ)にどんぶり
ブリキの缶
天井のしずくが奏でる
透き通る不思議な音色
なんだか弾んだ心
安普請の小さな古い家
家族がひとつになった

入れぬ

大分市
岸本満雄 73

死ぬまで
もちますかと
よく聞かれる
患者さんが
お年寄りだと
はい
長くもちますよと
答える
患者さんが
まだ若いと
手入れ次第ですと
答える

幸せのすがた

千葉県市川市
国広恵利 59

冬の朝に
見えていた富士山が
見えなくなっていた
富士山は確かに
そこにあるのに
幸せも
もしかしたら
そこにあるのに
見えなくなったり
見えないだけなのかも
してない
(産経新聞)

合い形作られたため、「どうして、そうだった」の解釈に



迷うものも多いというのが実情です。その混沌を紐解いて、目の前の人に分かりやすい言葉で伝えていくのが僧侶の役目の1つと心得ております。

■頂上さえ見通せない遥か高い山ですが、自らの命が尽きるまで、できるだけ高みに至り、その喜びを多くの方と共有できればと思っています。

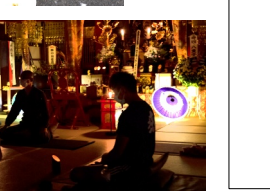
副住職 須藤貴裕



⑤法要前の話を聞く、お稚児さんや参列の方々。
⑥小学生が300文字弱の写経に挑戦！集中して一生懸命書いてくれました。
⑦竹灯ろう作り。皆さん、苦労して竹を切っていました。

■仏道修行として受け身で参加されがちなものを、少しくでも積極的に参加していただけよう説明いたしました。

⑧ギンナン。いい臭いのする新鮮なギンナンを拾っています。
⑨ナイトヨガとキャンドル瞑想。薄暗い幻想的な雰囲気の中で、ヨガと瞑想をお楽しみいただきました。
■準備・運営・片付けまでお手伝いいただいた役員の方々、催しを開いてくださった講師の方々、当日お参りしてくださいました。



⑧夕方、本堂に自分で作った灯ろうをお供えする子どもたち。竹灯りが素敵な雰囲気ですね。
⑨足もみ健康法。子連れでも参加できるように、講師の方が会場周辺に子どもも楽しめる足もみマットを用意してくださいました。
⑩痛そうな足つぼマットと棒です(笑)講座中は「イヤァー！ギャァー！」という楽しそうな声が聞こえていま



お線香にも
まごころを込めて

ご埋葬
おまかせください

字形代 38,000円 送料
埋葬料 11,000円 送料
清掃・拝石メジ含みです

本照寺様 出入り石材店

株式会社イシックス
■平塚店 平塚市四之宮2-24-31
■小田原店 小田原市関町1-25-21-201
0120-011140
isix.jp

俳句の世界では生憎（あいにく）という言葉はない

俳句はクール！

■「サラリーマン川柳」とは毎年、募集して一番を決める、というもの。昨年は「会社へは 来るなと上司 行けと妻」が一位。今年は「8時だよ 昔は集合 今閉店」が一位であった。過去の出色は「昼食は 妻がセレブで 俺セルフ」「我が家では 子供ポケモン パパノケモン」などが楽しい。川柳の利点は俳句のように季語を必要とせず、誰でも簡単に詠えること。逆に俳句は世界一短い詩であり、季語があるからこそクール（かつこい）であると、NHK・BS「クールジャパン」に出演する在日外国人が申し立てた。■確かに、今まで何気なく通り過ぎていた径（みち）ひとつにしても、俳句を始めるような木々や草花に目が届くようになり、吟行（ぎんこう・和歌や俳句の題材を求めて出かけること）となるようだ。趣味としては偏差値が高いかとも思うが、世界が今までと違って見えてくるということは、第二の人生が始まるということになるのでは？ ■このたびはTVでお馴染みの俳人「夏井いつき」の一文をご紹介します。

■私たち俳句を詠む人間にとつては吟行（ぎんこう・和歌や俳句の題材を求めて出かけること）は日常の一部です。

仲間と一緒にのピクニックなどはもちろんですが、例えばタクシーに乗っている時も、ご飯を作っている時も、その心持ちさえあればすべてが吟行です。

目や耳など五感から入ってくる情報でアンテナに触れるものがあれば、すぐに掬（すく）い取って句帳にメモし、その五感を頭

の中で変換し、文字に変えていきます。■昔のことですが、吟行をしながら頭の中で言葉をこねくり回してウンザリしたことがあります。その時、墓石の隙間に生えるスミレがふと目に留まり、瞬間、ハットしました。自分の脳味噌から出てくる言葉は自分以下のものではない、スミレや石、風、空のほうが私の灰色の脳細胞よりも、よっぽど新鮮な情報を持っていることを教えられたのです。五感を働かせることで、そんな体験をすることも少なくありません。

■俳人の世界ではよく「生憎（あいにく）という言葉はない」と言われます。「きょうは生憎の雨で桜を見ることができない」これは一般人の感覚ですが、俳人たちは「これで雨の桜の句を詠める」と考えます。雲に隠れて仲秋の名月が見えない時には「無月（むげつ）を楽しむ」、雨が降ったら「雨月（あめづき）を楽しむ」と捉えます。

編集後記

■ロシアによるウクライナ軍事侵攻が続いているが、ロシアがミサイル不足でドローン・ミサイルにて攻撃している。これをウクライナやフランスでは「神風・カミカゼ」「ドローンと呼んでいる。6年前、フランスでイスラム過激派が花火見物客が集まる遊歩道にトラックで突っ込み、86人を死亡させた無差別殺人テロ行為があったが、この報道に関連し、日本の「朝日新聞」はテロと神風特攻隊を同一視し、「少女に爆発物を巻き付けて自爆を強いる過激派の卑劣」70年前、特攻隊という人間爆弾に賞賛を送った国があった」と、新聞に書いた。「おいおい朝日新聞」、である。そもそもテロとは、無差別殺人であり、特攻隊は国際法が適用される「軍人相手」なのであり、誤用も甚だしい限りである。■広島、長崎への原爆投下や、東京大空襲を始め全国に2千回に及ぶB29による空襲などは、国際法上禁じられている完璧なる「一般市民無差別大量殺人テロ」なのである。特攻隊を美化する気は全くないが、誤用は止めて頂きたい。■アメリカによる本土空襲2千回、犠牲者約46万人。これを国際法違反の無差別大量殺人と言わずして、何と言おうか。

子供とお話 世界が広がる

主婦 伊藤ゆかり 57 愛知県豊田市

引きこもっていた人が俳句に出合っ外に出歩けるようになった

人生いきいき

夏井いつき



俳人、エッセイスト。8年間の中学校国語教師の後、俳人へ転身。TBS「プレバト」でもお馴染み。帝

塚山学院大学リベラル・アーツ学部客員教授。昭和32年生まれ。愛媛県出身。2022年6月、「長い言葉は嫌われる」（日経BP）をコピーライター・横田伊佐男との対談で出版。

神であり、俳人の心根にあるものなのもしれません。その精神で俳句を続けていくと、個人的な不幸や病氣、苦しき、憎

しみなどマイナスの要素のものが、すべて句材と思えるようになるのです。■私たちの仲間でも、病氣や家庭の事情などを抱えながら頑張っている人がたくさんいます。引きこもっていた人が俳句に出合っ外に出歩けるようになったとか、視覚に障害を得て落ち込んでいた人が元気になったとか、大切な家族を亡くされた人が俳句仲間を支えられて立ち直ることができたとか、そういっ

た例は枚挙にいとまがありません。それまで何をやってもマイナス思考で、螺旋階段をグルグル回りながら果てしなく下りてゆくいくように生きていた人が、物の見方が全く変わって、活き活きとした人生を生きるようになる。これこそが俳句の力ではないでしょうか。『一日一話 読めば心が熱くなる 365人の仕事の教科書』致知出版社より

夫と車に乗っていると「田んぼに水が入ってきれいだね」とか、「緑が濃くなったね」などと言われ、初めて気づくことがある。これまで景色を見るという習慣がなく、車でただ前を見ているだけだった。生まれ持った特性で、単に花鳥風月に疎いからだと思っていた。だが、幼少期に親から話しかけられなかったからではないかと思った。「虫の声が聞こえるよ」「花が咲いているよ」など、何でもいいのだが、母親から話しかけられた記憶がないのだ。一方、義母は花の名に詳しく、よく口にしている。親の働きかけと子供の性質に連関があるなら、スマホに夢中になり、子供の話に無関心な親に育てられた子供は、どんなふうになるのだろう。杞憂かもしれないが、子供たちといるときは、自らもスマホから少し離れてみるのもいいかもしれない。（産経新聞）

「子供の感性はどうしたら育つのか？」と保護者から聞かれると「お子さんは木登りしてますか」「朝日を見えていますか」と聞き返します。私は今もいい月が出たり、鳥の声が聞こえてきたら庭に飛び出します。そういう体験が、感性に関係してくると思うのです。